

令和2年（2020年）12月1日

令和2年度金沢市議会12月定例会月議会市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、令和2年度金沢市議会12月定例会月議会が開かれますに当たり、市政の概況と提出議案の大要につきまして、ご説明いたします。

それに先立ち、ただいま本議場において、「新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議」が満場一致で可決されました。感染等を理由とした差別や偏見などは、あってはならないことであり、正しい情報に基づく冷静な行動を促すため、引き続き、迅速かつ正確な情報発信に努めていきます。

【市政の概況】

さて、我が国では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が、先月、過去最高を記録するなど、第3波とも言われる厳しい状況が続いています。本市においては、医療従事者の献身的なご努力や市民・事業者のご協力により、今のところ、新規の感染者数は抑制されていますが、今後、寒さが厳しさを増す中で、インフルエンザとの同時流行も懸念されてきます。改めて、市民の皆様方には、新しい生活様式の実践を徹底いただきますようお願いするとともに、市としましても、寄附金を活用し、未就学児の正しい手洗いを啓発するほか、医師会と連携して、年末年始等のPCR検査体制の強化を図るなど、感染症対策に万全を期していきます。

一方、我が国経済は、個人消費をはじめ、輸出や生産に持ち直しの動きが見られるなど回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況が続いています。本市では、これまでも数次にわたる地域経済対策を実践してきましたが、引き続き、切れ目のない対策を講じていく必要があるとの思いから、今回、地域経済の更なる活性化に資する補正予算をお諮りいたしました。

先ずは、観光産業の回復に向けた施策です。この10月より開始した「五感にごちそう金

「宿泊キャンペーン」を契機として、観光客の増加傾向が見られ、まさに賑わいが戻りつつあるなど、一定の効果が現れています。このため、キャンペーンの継続実施にかかる経費を追加することにより、客足が落ち込む冬季の旅行需要を喚起するとともに、延べ10万泊分の支援に向けて、事業の持続化を図るため、毎月16日より助成上限額を見直し、地域経済への波及効果を高めていきます。

併せて、来月より、宿泊キャンペーンの利用者に対し、市内の飲食店や工芸店等で使用できるクーポン券を送付することで、再度の来訪を促しますほか、金沢への修学旅行が増えていますことから、宿泊費等にかかる助成枠を追加するとともに、明年度以降の誘致につなげていきます。

なお、先般、国からG・O・T・Oトラベル事業の運用を見直す方針が示されたところであり、引き続き、感染状況や国の動向等を十分注視しながら、適切な事業実施に取り組んでいきます。

一方、雇用の確保を図るため、離職者等の正規雇用にかかる奨励金や国の雇用調整助成金への上乗せ制度の対象期間を延長しますほか、コロナ禍で厳しい経営環境にある中小事業者等に対し、明年度の固定資産税等を軽減する措置が講じられますことから、制度の周知と丁寧な相談に努めていきます。

加えて、食文化の振興では、新たにブランド化した「金沢香箱」や「加能ガニ金沢」を発信するためのキャンペーンを展開し、消費の拡大につなげていきますほか、農水産物等の安定供給を維持するため、市場使用料の減免を延長することとしました。

他方、新たな価値の創造と子供の独創力の育成をめざす価値創造拠点施設の整備についてです。コロナ禍がもたらした社会変革やデジタル化が加速している現状を十分踏まえた上で、運営のあり方等について、時勢に即して対応していく必要があると判断したことから、開設時期を明年夏に延期することとし、新産業創出アドバイザーの意見も取り入れながら十分な検討を重ね、開設に向けて万全を期していきたいと考えています。

次に、交通基盤の充実に関してです。本年度末の完成を予定している森本駅東広場では、

多目的広場の賑わい創出を図るため、イベント等での活用について、地元団体と協議を進めているほか、隣接するパーク・アンド・ライド駐車場の明年4月からの供用開始に向けて、今回、設置条例をお諮りしています。

さて、先月、国や鉄道・運輸機構から、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業が1年半延期される見通しとなったことが示されました。本市も含めた沿線自治体では、2023年春の開業に向けたまちづくりを鋭意進めてきたところであり、延期による影響が大きいことから、引き続き、県や関係機関とともに、一刻も早い敦賀開業と大阪までの早期全線整備を国に強く求めています。

次に、文化・芸術の振興では、施策の指針となる文化芸術アクションプランの骨子案が、今般まとめられましたので、年度末を目途に、具体の施策を盛り込んだプランを取りまとめていくほか、インターネットを活用したデジタル工芸展では、本日より、出展作家の作品を取り扱うギャラリー等を新たに掲載し、本市工芸の更なる魅力発信と販路拡大につなげていきます。

加えて、本市の縁付金箔製造技術が、今月中旬にも、国内の16分野の伝統技術とともにユネスコの無形文化遺産に登録される見通しであることから、これを機に、金沢箔の発信と伝統技術の保存・継承に、より一層努めていきたいと考えています。

また、金沢美術工芸大学では、令和5年度中の新キャンパスへの移転に向けて、今回、建設工事にかかる請負契約議案をお諮りしていますほか、設備が老朽化しているアートホールは、本日から大規模改修工事のため休館することとし、明年9月1日の再開をめざして準備を進めています。

このほか、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館では、来月5日から、企画展「金沢のチカラ・重層する建築文化」を開催することとしており、藩政期から現代まで連綿と築かれた本市の建築文化を全国に発信していきます。

ところで、子供たちが希望を持って健やかに成長できることが、まちの未来にとって必要なことであり、どのような境遇の子供であっても、自分の可能性を信じ、夢に向かって挑戦

できる環境を創ることは行政の責務であると考えています。

そうした思いから、過日、子供の居場所づくり活動を行っている団体等で構成する「金沢こども応援ネットワーク」を新たに立ち上げたところであり、団体との連携を強化し、情報共有を図ることで、困難を抱える子供や経済的に困窮する家庭への確実な支援につなげていきます。

加えて、小中学校では、感染症対策を講じながら、児童生徒の学びの確保に取り組んでいるほか、教育環境の充実を図るため、一人一台学習用端末の配備を進めています。さらに、来月には、「ICT版金沢型学習スタイル」を策定することとしており、明年度より、デジタル教材等を活用し、教科の特徴や児童生徒の発達段階に応じた効果的な指導を実践していきたいと考えています。

一方、民法の改正に伴い、令和4年4月から、成年年齢が18歳に引き下げられます。これに併せ、本市におきましても、成人式の開催時期について検討を重ねてきましたが、公民館連合会のご意見等も踏まえ、18歳となる方の多くが進学や就職を控えていることに配慮し、従来通り20歳の方を対象に式典を開催することとしました。

さて、政府は、ポストコロナ時代を見据えた成長戦略の柱の一つに、社会全体のデジタル化を据える方針を示しています。

市としても、これに積極的に呼応するため、今回、行政手続等のオンライン化を進めるための条例をお諮りしたところであり、来月より順次、電子申請の拡充を図るほか、明年秋には、物品・役務契約に電子入札を導入するなど、業務の効率化にも努めていきます。

次に、地域コミュニティの醸成と市民協働の推進に関してです。先月、旧町名が復活した金石地区では、新たに、金石上越前町及び金石相生町の復活について、地元の2町会から申し出を受けたことから、明年度中の復活に向けた調査費をお諮りしています。

また、現在、市民協働の指針となる次期協働推進計画の策定を進めており、先般、骨子案がまとまりましたので、近く、パブリックコメントを実施した上で、広く市民の皆様のご意見をいただきながら、年度末を目途に取りまとめることとしています。

【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました補正予算案は、感染症防止と地域経済への対策に関する経費や、福祉・教育施策等に関する経費の追加のほか、人事院勧告に基づく期末手当の減額改定など職員給与費の整理が主なる内容であり、全会計の補正額は、38億6,320万7千円となりました。

まず、福祉関係では、利用者の増加に伴う障害者自立支援給付費の追加をはじめ、私立保育所等運営費を増額するほか、経済関係では、先に述べた宿泊キャンペーンの継続にかかる経費や、中小企業のテレワーク導入に対する助成枠を追加しています。

また、農林水産関係では、クマの出没が相次いでいますことから、被害防止にかかる経費を増額するとともに、木の家づくり奨励金の助成枠を追加しますほか、都市整備・土木関係では、道路や公園等の緊急修繕枠を増額いたしました。

さらに、市民・環境関係では、個人番号カードの交付件数の増加に対応する経費や、住宅用蓄電システムの設置等に対する助成枠を追加するほか、文化スポーツ・教育関係では、利用料金の減収に伴い、金沢21世紀美術館等の指定管理費を増額するとともに、国の内示を受けて、小中学校のトイレの洋式化を前倒しいたします。

このほか、都市政策関係では、公共交通を維持するため、山間地等の赤字バス路線に対する助成枠を追加しています。

予算以外の議案では、先に述べた行政手続きのオンライン化にかかる「金沢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の制定など条例案6件のほか、金沢美術工芸大学の建設工事にかかる請負契約の締結など8件をお諮りいたしました。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。